

令和3年度物部川地域アクションプランの 追加等（予定項目）

物 部 川 地 域 本 部

令和3年2月16日（火）

令和3年度地域アクションプランの追加、削除等（予定項目）

地域アクションプランへの支援の方向性

(1) 新規事業の掘り起こしと担い手の育成

- ①発掘支援型アドバイザーにより、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし（R2～新規）
- ②地域が主体となって実施するビジネス研修への支援により、産業振興の取り組みを牽引する担い手を育成

(2) 地域への経済波及効果の大きい案件の課題解決に向けた支援の強化

- ①課題一貫支援型アドバイザーにより、地域への経済波及効果が大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援（R2～新規）
- ②課題解決型アドバイザーにより、個別課題の解決を支援

地域アクションプラン数 R2年度 217件 → R3年度 223件（+6）

	R2年度	R3年度				A P 数
	A P 数	増減				
		追加	削除	統合・分割	計	
安芸	31			▲ 1	▲ 1	30
物部川	25	1			1	26
高知市	24		▲ 1		▲ 1	23
嶺北	25					25
仁淀川	33	1			1	34
高幡	37	4			4	41
幡多	42	2			2	44
合計	217	8	▲ 1	▲ 1	6	223

○地域産業クラスタープロジェクト R2年度 18件 → R3年度 19件（+1）

物部川地域アクションプラン項目（第4期計画（R2年度））

No.	現在(令和2年度)	南国市	香南市	香美市
		11	10	10
1	日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト		●	●
2	南国市農業生産拡大プロジェクト	●		
3	南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化	●		
4	香美市における「物部ユズ」の総合的な産地強化対策			●
5	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上	●		
6	南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大	●		
7	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み	●		
8	ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業	●		
9	物部川地域の民有林における原木の増産	●	●	●
10	シイラ等の水産物加工による外商の拡大		●	
11	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進	●	●	
12	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化	●		
13	ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進		●	
14	香南市における特産品づくりと販売の促進		●	
15	野市町中心商店街の振興		●	
16	香美市における特産品づくりと販売の促進			●
17	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●
18	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●
19	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売			●
20	物部川地域における広域観光の推進	●	●	●
21	南国市の地域資源を活用した観光の推進	●		
22	香南市におけるスポーツ・体験型観光等の取り組みの推進		●	
23	三宝山エリアを核とする観光拠点化の推進		●	
24	香美市における滞在型・体験型観光の推進			●
25	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進			●

と第4期計画Ver. 2 (R3年度) の対比表)

【物部川地域】

南国市	香南市	香美市	No.	改定案(令和3年度)
12	10	10		
	●	●	1	日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト
●			2	南国市農業生産拡大プロジェクト
●			3	南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化
		●	4	香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策
●			5	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上
●			6	南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大
●			7	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み
●			8	ヤギミルク等の生産体制強化及び流通促進事業
●	●	●	9	物部川地域の民有林における原木の増産
	●		10	シイラ等の水産物加工による外商の拡大
●	●		11	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進
●			12	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化
	●		13	ヤ・シイパークを核とする地域の活性化の推進
	●		14	香南市における特産品づくりと販売の促進
	●		15	野市町中心商店街の振興
		●	16	香美市における特産品づくりと販売の促進
		●	17	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興
		●	18	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化
		●	19	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売
●	●	●	20	物部川地域における広域観光の推進
●			21	南国市の地域資源を活用した観光の推進
追加	●		22	南国市の観光農園による観光の推進及び販売の促進
	●		23	香南市におけるスポーツ・体験型観光等の取り組みの推進
	●		24	三宝山エリアを核とする観光拠点化の推進
		●	25	香美市における滞在型・体験型観光の推進
		●	26	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進

物部川地域アクションプランの追加等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
22	南国市の観光農園による観光の推進及び販売の促進（南国市） 【実施主体】（株）西島園芸団地	南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。

【新規A P】南国市の観光農園による観光の推進及び販売の促進

(事業実施主体：(株)西島園芸団地)

経緯・現状

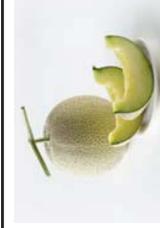
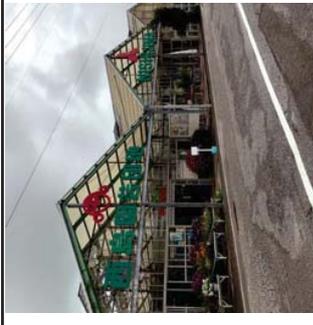
■これまでの経過

- S46.7 8戸の農家によって「農事組合法人 西島園芸団地」設立
- S54～ 観光農園事業に着手。1年中メロン、スイカが食べられる観光施設として県内外から観光客が訪れるようになった
- H25.3 株式会社 西島園芸団地となる
- R2.9～ 課題一環支援アドバイザー制度を活用し、短期・中期の事業計画の策定、お土産品の開発に取り組んでいる
 - 全体支援アドバイザー
 - ・ SWOT分析と事業計画の策定
 - ・ 全従業員を対象にSWOT分析を実施中
 - 商品開発にかかる個別支援アドバイザー
 - ・ 自社の農産物を使ったお土産品、コラボ商品の開発

■入込客数の推移

	入込客数 (人)
H28	121,265
H29	114,677
H30	113,893
R元	106,191
R2	64,789

■R2の状況※8月から集計方法が変更 (旧：52,088人)
対前年比：△40.0%



課題

- (1) 観光客数の減少
 - ・ コロナ前も年々観光客は減少傾向。新型コロナウィルス感染症の影響で大型バスの来場が激減
- (2) 施設
 - ・ 施設、備品の老朽化
 - ・ 顧客ニーズの変化への対応
- (3) 経営
 - ・ 人材の確保・育成
- (4) その他
 - ・ 生産資材価格の高騰
 - ・ 自社の農産物を使った加工品の開発

今後の事業予定

- ◆ **体制強化**
 - SWOT分析を踏まえた事業計画の策定 (R2～3)
 - 人材の確保・育成 (R2～)
- ◆ **リブランディング**
 - 施設改修、ブランディング (R3)
 - ・ コンセプトの検討
 - ・ コンセプトに基づく施設改修
 - ・ ロゴ、パッケージのリニューアル
- ◆ **新商品の開発 (R2～3)**
 - 自社の農産物を使ったお土産品の開発

追加項目（案）

追加

物部川地域アクションプラン

分野

観光

AP 名 (実施地域)	No.22 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市)
実施主体	◎(株)西島園芸団地、南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会、南国市観光施設連絡会
AP への 位置づけ	R3.4 月
事業概要	南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R 元	R2	R5
(1)観光客入込数 (1~12月)	101,691 人 (R 元速報値)	同左		100,000 人
(2)年間売上額※	3 億 940 万円 (R 元)	同左		3 億 6,000 万円

※会計年度：8~7 月

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人「西島園芸団地」設立（S46） ・観光農園事業開始（S54） ・株式会社化（H25） <p>◆全体コンセプトの構築とリブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型）の活用による短期・中期の事業計画の策定（R2） ・SWOT 分析の実施（R2） ・ブランディング戦略の検討（R2） <p>◆新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型）の活用による新商品開発（R2） <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改修、イチゴの高設栽培面積の増反、体温計・自動手洗い設備の導入 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年をピークに年々観光客は減少傾向 ・新型コロナウイルス感染症の影響で大型バスでの来場が激減。個人客も減少 ・施設の老朽化 ・時代の変化・顧客ニーズにあわせた施設運営が求められている ・自社の農産物を使った加工品の開発 ・人材の確保・育成 ・生産資材価格の高騰
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆体制強化	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">事業計画策定</div>		<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">計画の実施、見直し</div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT分析を踏まえた事業計画の策定 ●県（地域本部等）：計画策定に対する支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：事業計画の進捗管理、状況に応じた見直し ●南国市・県（地域本部等）：各種支援策の情報提供等 		
◆全体コンセプトの構成とリブランディング	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">コンセプト構築</div>		<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">施設改修</div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：SWOT分析、アドバイザーのアドバイスを踏まえたコンセプト構築 ●南国市・県（地域本部等）：助言・情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：コンセプトを踏まえた施設改修 ●南国市・県（地域本部等）：補助事業による支援 		
◆新商品の開発	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">新商品の開発・販路拡大</div>				
<ul style="list-style-type: none"> ●西島園芸団地：消費者ニーズを踏まえた新商品の開発、パッケージ改良等既存商品の磨き上げ、各種商談会への参加、自社加工場の県版 HACCP 対応 ●南国市・県（地域本部等）：アドバイザーの活用提案、県等が主催する商談会や各支援策等の情報共有 					
<p>【用語】・リブランディング：時代や顧客にあわせ、既存のブランドの再構築を含めた新たなブランドを構築すること。</p>					

修正項目（案）

修正前

物部川地域アクションプラン

分野

農業

AP名 (実施地域)	No.4 香美市における「物部ユズ」の総合的な産地強化対策 (香美市)
実施主体	◎JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）、JA 高知県（香美地区）、香美市、農地中間管理機構（高知県農業公社）、NPO 法人いなかみ
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	日本一の青果ユズ生産量を誇る「物部ユズ」産地の維持に向け、「新規就農者、認定農業者等担い手の確保・育成」、「集出荷場の整備・作業効率の向上」、「園地の整備、流動化及び機械化・新技術導入による生産向上」を推進する。

指標	出発点	実績					目標
	* 1	R2	R3	R4	R5	* 2	
(1) ユズ販売金額 (JA 入金額)	4.9 億円					5.0 億円	
(2) 青果ユズ出荷量	745t					750t	

※ 1：H28～R元園芸年度の平均値 ※ 2：R2～5園芸年度の平均値（園芸年度：前年9～8月）

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆担い手対策

- ・研修生受入体制の整備（H28～）
- ・新規就農者の育成支援（H28～）
- ・認定農業者の確保・育成（H28～）
- ・Iターンによる就農希望者への住宅情報の提供（H30～）

◆流通、販売上の対策

- ・消費者ニーズに応じた青果の安定的な供給体制の確立（H28～）
- ・多様な販売ルートへの確保に向けた取り組み（H28～）
- ・「まるぶつユズ」のブランド力の強化（H30～）

◆生産向上対策

- ・振興系統及び品種への支援（H28～）
- ・機械化による生産性向上（H28～）
- ・園地の確保及び流動化の推進（H30～）

<主な成果>

◆担い手対策

- ・産地提案書の提示、指導農業士4名の認定（計5名）
- ・ユズの新規就農者：8名（H28～）
- ・認定農業者の確保：新規及び再認定13名

◆流通、販売上の対策

- ・青果出荷量の安定供給：807t（H30）
- ・卸売市場を通じたシンガポールへの輸出開始（H30～）
- ・地理的表示保護制度への申請（H31.4月）

◆生産向上対策

- ・農地中間管理事業による園地の確保・流動化：7件（H30～R元）※見込みを含む
- ・優良系統及び品種の栽培面積の普及：134ha（H30）（普及率92.5%）
- ・スピードスプレー（薬剤噴霧器）の導入：1件（H30）

<課題>

- ・研修生受入体制の強化（情報発信等）
- ・住環境の提供による移住での新規就農者の確保
- ・新規就農者の就農計画の策定及び技術習得
- ・担い手の営農計画の策定
- ・冬至玉の出荷予測精度の向上
- ・集出荷場の整備及び作業効率の向上
- ・剪定・防除等の基本技術の徹底、計画的な新改植等による青果ユズの確保
- ・園地の整備・流動化・機械化の推進による生産基盤強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆担い手対策	担い手の確保・育成、受入体制の見直し				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 研修生受入体制の整備・強化と就農支援、産地提案書の見直し、指導農業士の確保 担い手の各事業計画（就農計画・経営改善計画・資金借受計画等）の策定 ●香美市：新規就農者の確保・育成のための各事業・施策による支援、認定農業者の確保・育成への支援 ●NPO 法人いなかみ：産地の情報発信、空き家等の住宅情報の提供 ●県（中央東農業振興センター等）：研修生の受入体制への助言、担い手の各事業計画の策定支援等 				
◆流通、販売上の対策	冬至玉の出荷予測精度の向上		予測システムの運用・修正		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予想出荷量と市場要請量との調整 予測精度の向上 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： AI等を活用した出荷予測精度向上への支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予測システムの運用と市場要請量との調整 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： 予測システムの活用に向けた普及と改良 		
	集出荷場の整備・作業効率の向上		整備後の運用・検証		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 集出荷場の整備計画の策定 作業行程等の見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 整備計画の策定及び補助事業への支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 整備後の事業評価とさらなる改善 ●県（中央東農業振興センター等）： 目標の達成に向けた支援 		
◆生産向上対策	青果生産量の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子部会）： 部会活動（講習会、現地検討会）の活性化、産地間交流の推進 ●県（中央東農業振興センター、果樹試験場等）： 部会活動への支援、産地間交流支援、優良系統・品種及び新技術に関する情報提供 				
	園地の整備・流動化・機械化の推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）：意向調査に基づく園地情報の提供及びマッチング ●香美市：園地整備・機械化に関連する事業支援、農地情報提供 ●農地中間管理機構：担い手への園地集積のための農地情報提供 ●県（中央東農業振興センター等）：マッチングへの支援、園地整備・機械化に係る事業支援 				
<p>【用語】・青果ユズ：果実への傷、生理障害、病気が少ない良質のユズ。「酢玉」以外の出荷品。物部柚子生産部会の規格では「青玉」、「カラーリング玉」、「黄玉平箱」、「冬至玉」、「貯蔵玉」、「小袋包装」が該当する。H30の実績で青果率は62%</p>					

AP名 (実施地域)	No.4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策 (香美市)
実施主体	◎JA 高知県 (香美地区物部柚子生産部会)、JA 高知県 (香美地区)、香美市、農地中間管理機構 (高知県農業公社)、NPO 法人いなかみ
AP への位置づけ	H21.4月
事業概要	日本一の青果ユズ生産量を誇る「物部ゆず」産地の維持に向け、「新規就農者、認定農業者等担い手の確保・育成」、「集出荷場の整備・作業効率の向上」、「園地の整備、流動化及び機械化・新技術導入による生産向上」を推進する。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) ユズ販売金額 (JA 入金額) ※	4.9 億円 (H28～R 元平均)	同左	4.8 億円 (H29～R2 平均) (対前年同期比 97.8%)	5.0 億円 (R2～5 平均)
(2) 青果ユズ出荷量 ※	760t	同左	750t (対前年同期比 98.8%)	770t

※園芸年度：前年 9～8 月

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆担い手対策

- ・研修生受入体制の整備 (H28～)
- ・新規就農者の育成支援 (H28～)
- ・認定農業者の確保・育成 (H28～)
- ・I ターンによる就農希望者への住宅情報の提供 (H30～)

◆流通、販売上の対策

- ・消費者ニーズに応じた青果の安定的な供給体制の確立 (H28～)
- ・多様な販売ルートの確保に向けた取り組み (H28～)
- ・「物部ゆず」のブランド力の強化 (H30～)

◆生産向上対策

- ・振興系統及び品種への支援 (H28～)
- ・機械化による生産性向上 (H28～)
- ・園地の確保及び流動化の推進 (H30～)

<主な成果>

◆担い手対策

- ・産地提案書 (改訂版) の発信・提示
- ・指導農業士 5 名の認定
- ・ユズの新規就農者：8 名 (H28～)
- ・認定農業者の確保：新規及び再認定 16 名 (R2.12 月)

◆流通、販売上の対策

- ・青果出荷量の安定供給：677t (R2 園芸年度)
- ・卸売市場を通じたシンガポールへの輸出継続：202kg (R2 園芸年度)
- ・「物部ゆず」で地理的表示(GI)に登録 (R2.6 月)

◆生産向上対策

- ・農地中間管理事業による園地の確保・流動化：7 件 (H30～) ※見込みを含む
- ・優良系統及び品種の栽培面積の普及：面積 136ha、普及率 95.7% (R2)
- ・スピードスプレー(薬剤噴霧器)の導入：1 件 (H30)

<課題>

- ・研修生受入体制の強化 (情報発信等)
- ・住環境の提供による移住での新規就農者の確保
- ・新規就農者の就農計画の策定及び技術習得
- ・担い手の営農計画の策定
- ・冬至玉の出荷予測精度の向上
- ・集出荷場の作業効率の向上
- ・剪定・防除等の基本技術の徹底、計画的な新改植等による青果ユズの確保
- ・収穫期の労働力確保
- ・園地の流動化などによる生産規模の維持・確保

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆担い手対策	<p>担い手の確保・育成、受入体制の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 研修生受入体制の整備・強化と就農支援、産地提案書の見直し、指導農業士の確保 担い手の各事業計画（就農計画・経営改善計画・資金借受計画等）の策定 ●香美市：新規就農者の確保・育成のための各事業・施策による支援、認定農業者の確保・育成への支援 ●NPO 法人いなかみ：産地の情報発信、空き家等の住宅情報の提供 ●県（中央東農業振興センター等）：研修生の受入体制への助言、担い手の各事業計画の策定支援等 				
◆流通、販売上の対策	<p>冬至玉の出荷予測精度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予想出荷量と市場要請量との調整、予測精度の向上 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： AI等を活用した出荷予測精度向上への支援 <p>予測システムの運用・修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）： 予測システムの運用と市場要請量との調整 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）： 予測システムの活用に向けた普及と改良 <p>集出荷場の整備・作業効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 集出荷場の整備計画の策定 作業行程等の見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 <p>集出荷場作業行程改善の運用・検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）： 作業行程改善後の運用と更なる見直し ●県（中央東農業振興センター等）： 作業行程等の見直しへの支援 <p>「物部ゆず」のブランド力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子部会）： GIを活用した販売促進活動、市場経由による輸出継続 				
◆生産向上対策	<p>青果生産量の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子部会、無料職業紹介所）： 部会活動（講習会、現地検討会）の活性化、産地間交流の推進、労働力確保に向けた体制整備 ●県（中央東農業振興センター、果樹試験場等）： 部会活動への支援、産地間交流支援、優良系統・品種及び新技術に関する情報提供、労働力確保への支援 <p>園地の整備・流動化・機械化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物部柚子生産部会）：意向調査に基づく園地情報の提供 ●香美市（農業委員会）：園地整備・機械化に関連する事業支援、担い手への園地集積のための農地情報提供 ●農地中間管理機構：担い手への園地集積のための農地情報提供 ●県（中央東農業振興センター等）：園地マッチングへの支援、園地整備・機械化に係る事業支援 <p>【用語】・青果ユズ：果実への傷、生理障害、病気が少ない良質のユズ。「酢玉」以外の出荷品。物部柚子生産部会の規格では「青玉」、「カラーリング玉」、「黄玉平箱」、「冬至玉」、「貯蔵玉」、「小袋包装」が該当する。R2園芸年度の実績で青果率は54%</p>				

修正項目（案）

修正前

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP名 (実施地域)	No.8 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 (南国市)		
実施主体	◎川添ヤギ牧場		
APへの位置づけ	H28.4月		
事業概要	流通の少ない、ヤギミルク及びヤギ肉の安定供給を図るため、生産体制を強化するとともに、飲料・原料としての商品づくりのほか、県内事業者との連携による新たな加工品の開発により高付加価値化を図り、ヤギミルクを中心とした外商戦略を展開していく。		

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
ヤギミルク、ヤギ肉の売上高	591万円					4,380万円	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組み内容></p> <p>◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県ヤギ飼料生産組合を設立（H28） ・人材の育成（H28～） ・新畜舎の整備（H29） ・搾乳・飼料生産機械の導入（H29） ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギの飼育体制の改善・強化（H30、R元） <p>◆販路開拓及び加工品の開発・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギ肉試食会の開催、ヤギ肉の販売開始（H28） ・ひまわり乳業(株)と連携し、飲料ヤギミルクの販売開始（H28） ・県外商談会への出展（H30～、アグリフード EXPO など） ・新商品の開発に向けて、県内事業者を巻き込んだ検討会を実施（R元） ・TV・新聞を活用した効果的なPRによる販路を拡大 ・積極的な新規雇用による運営体制の強化 	<p><主な成果></p> <p>◆ヤギミルク（飲用）の販売額の増加 H28：143万円 → H30：369万円</p> <p>◆雇用の創出 H27：2人（正規2人） → R元：9人（正規5人、パート4人）</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ・経営の安定化（経営状況の分析、事業計画の見直し、人材育成） ・ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大に応じた販路の拡大

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立	生産体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ飼育頭数の増加、ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大 飼育データの収集・蓄積、高知大学等との共同研究による品質向上 搾乳量に応じた事業計画の見直し ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
	組織体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 事業拡大にあわせた組織体制づくり（新規雇用、飼育人材の育成等） 経営の安定化に向けた取り組みの実施（経営状況の分析・改善、事業計画の精査・見直し等） ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	県外へ向けた販売促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ひまわり乳業(株)と連携したヤギミルクの販売、販路開拓 ヤギ肉試食会の開催、商談会への参加等によるヤギ肉の販路開拓 メディア、HP、フェイスブックを活用した情報発信 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
	新商品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 生産量増加に伴う新たな商品（加工品）の検討、新たな OEM 商品の実現 ●県（地域本部等）： 新商品開発の支援制度に関する情報提供、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し 				
	プロモーション活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ産業化の取り組みやひまわり乳業(株)と連携したヤギミルク商品等の情報発信 ●県（地域本部等）： 高知県地産外商公社への橋渡し 				

修正後

物部川地域アクションプラン

分野

農業

AP名 (実施地域)	No.8 ヤギミルク等の生産体制強化及び流通促進事業 (南国市)
実施主体	◎川添ヤギ牧場
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	流通の少ない、ヤギミルク及びヤギ肉の安定供給を図るため、生産体制を強化するとともに、飲料・原料としての商品づくりのほか、県内事業者との連携による新たな加工品の開発により高付加価値化を図り、ヤギミルクを中心とした外商戦略を展開していく。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
ヤギミルク、ヤギ肉の売上高※	591万円	2,308万円		4,380万円

※会計年度：1～12月

これまでの主な動き

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組み内容></p> <p>◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県ヤギ飼料生産組合を設立 (H28) ・新畜舎の整備 (H29) ⇒H28～29産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 (事業費 4,432 万円) ・搾乳・飼料生産機械の導入 (H29) ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギの飼育体制の改善・強化 (H30、R元) <p>◆販路開拓及び加工品の開発・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギ肉の販売開始 (H28) ・ひまわり乳業(株)と連携し、飲料ヤギミルクの販売開始 (H28) ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギ肉の販売戦略の作成 (R2) 	<p><主な成果></p> <p>◆ヤギミルク (飲用) の販売額の増加 H28:143 万円 → R元:1,915 万円</p> <p>◆雇用の創出 H27:2 人 (正規 2 人) →R2:11 人 (正規 5 人、短期 6 人) 10 月末現在</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ・経営の安定化 (経営状況の分析、事業計画の見直し、人材育成) ・ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大に応じた販路の拡大

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立	生産体制の強化				
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> 畜舎等の整備 </div> <ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ飼育頭数の増加、ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大 飼育データの収集・蓄積、高知大学等との共同研究による品質向上 搾乳量に応じた事業計画の見直し ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px; float: right;"> <ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： <u>新畜舎・備品等の整備</u> ●県（地域本部等）： <u>各種支援制度に関する情報提供</u> </div>				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	組織体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 事業拡大にあわせた組織体制づくり（新規雇用、飼育人材の育成等） 経営の安定化に向けた取り組みの実施（経営状況の分析・改善、事業計画の精査・見直し等） ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	県外へ向けた販売促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ひまわり乳業(株)と連携したヤギミルクの販売、販路開拓 ヤギ肉試食会の開催、商談会への参加等によるヤギ肉の販路開拓 メディア、HP、フェイスブックを活用した情報発信 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
	新商品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 生産量増加に伴う新たな商品（加工品）の検討、新たな OEM 商品の実現 ●県（地域本部等）： 新商品開発の支援制度に関する情報提供、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し 				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	プロモーション活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ産業化の取り組みやひまわり乳業(株)と連携したヤギミルク商品等の情報発信 ●県（地域本部等）： 高知県地産外商公社への橋渡し 				

修正項目（案）

修正前

物部川地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.15 野市町中心商店街の振興 (香南市)
実施主体	◎香南市、◎香南市商工会
APへの 位置づけ	R2.4月
事業概要	香南市野市町の中心商店街において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心商店街を核とした地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
空き店舗等を活用した新規開業数	0件					8件 (累計)	

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市空き店舗等対策事業費補助金の創設 (H28) ⇒空き店舗改修等に対する補助 活用実績：1件 (H28～R 元累計) ・商工会等 HP への空き店舗物件情報の掲載 (H30) ・香南市空き店舗等対策事業費補助金要綱の改正 (R 元) ⇒補助対象を商店街の活性化から商業活性化へと拡充 ・チャレンジショップ実現可能性の検討 (R 元) <p>◆運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市産業振興計画における取り組みの位置付け (R 元) 	<p><主な成果></p> <p>—</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗補助金の活用による創業の促進 ・空き店舗情報の把握と関係者間での共有 ・空き店舗情報の発信（市内外への PR） ・新規創業希望者へのサポート体制の確立

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆ 空き店舗対策</p>	<p>空き店舗実態調査等の実施 → 空き店舗解消に向けた取り組みの推進</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 香南市： 空き店舗実態調査の実施 空き店舗バンクの創設によるリスト化 ● 香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 ● 県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 香南市： 情報発信による周知 （空き店舗情報、事業承継支援等） 補助金による改修の促進 ● 香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援 ● 県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供、伴走支援等 			
<p>◆ 運営体制の 確立</p>	<p>商店街等振興計画の策定 → 商店街振興計画の推進</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 香南市： 中心商店街の中長期的な戦略の策定 ● 香南市商工会： 計画策定への参画、意見反映等 ● 県（商工労働部、地域本部等）： 計画策定に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 香南市： 事業承継、人材ニーズの掘り起こし及び情報発信 商店街振興計画を踏まえた補助事業の拡充の検討 空き店舗を活用した事務系企業誘致の促進 ● 香南市商工会： 創業、事業承継希望者への伴走支援の実施 空き店舗情報等の積極的な情報発信 ● 県（商工労働部、地域本部等）： 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援等 			

修正後

物部川地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.15 野市町中心商店街の振興 (香南市)
実施主体	◎香南市、◎香南市商工会
APへの位置づけ	R2.4月
事業概要	香南市野市町の中心商店街において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心商店街を核とした地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
空き店舗等を活用した新規開業数	0件	0件		8件 (累計)

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市空き店舗等対策事業費補助金の創設 (H28) ⇒空き店舗改修等に対する補助 活用実績：1件 (H28～R元累計) ・商工会等 HP への空き店舗物件情報の掲載 (H30) ・香南市空き店舗等対策事業費補助金要綱の改正 (R元) ⇒補助対象を商店街の活性化から商業活性化へと拡充 ・チャレンジショップ実現可能性の検討 (R元) <p>◆運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市産業振興計画における取り組みの位置付け (R元) 	<p><主な成果></p> <p>—</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗補助金の活用による創業の促進 ・空き店舗情報の把握と関係者間での共有 ・空き店舗情報の発信 (市内外への PR) ・新規創業希望者へのサポート体制の確立
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆空き店舗対策	空き店舗実態調査等の実施		空き店舗解消に向けた取り組みの推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 空き店舗実態調査の実施 空き店舗バンクの創設によるリスト化 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供等 		<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 情報発信による周知 （空き店舗情報、事業承継支援等） 補助金による改修の促進 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供、伴走支援等 		
◆運営体制の 確立	商店街等振興計画の策定		商店街振興計画の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 中心商店街の中長期的な戦略の策定 ●香南市商工会： 計画策定への参画、意見反映等 ●県（商工労働部、地域本部等）： 計画策定に対する支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 事業承継、人材ニーズの掘り起こし及び情報発信 商店街振興計画を踏まえた補助事業の拡充の検討 空き店舗を活用した事務系企業誘致の促進 ●香南市商工会： 創業、事業承継希望者への伴走支援の実施 空き店舗情報等の積極的な情報発信 ●県（商工労働部、地域本部等）： 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援等 		